



農福連携による 障がい者・ひきこもりの社会参加

リスタート・フォーラム 2017

10月18日(水) アオーレ長岡

★時代は経済福祉から環境福祉へ★

今、社会は、効率、利益を求める競争社会になっています。

一方、人間の価値観は多様化し、競争社会に適応できない人は、精神的に病み、また箱の中に閉じ籠ったりしています。

特に、人とお金が集まる大都市ではその傾向が顕著であり、一方、仕事と夢を求めて大都市へ行く若者が居なくなった地方や農村部は、これからの社会コミュニティを維持するのも危ぶまれる程、経済的に疲弊しています。

しかし、地方、農村部には緑や豊かな自然が残り、時間的にも空間的にも十分なゆとりがあります。そのような環境の中で、大都市などでの競争社会で病んでしまった人たちが、そこに住む高齢者や、そこに集う様々な人たちと一緒に農園芸作業をし、一緒に食事をし、そして一緒に活動することで、新たなしごとや生き甲斐を見出し、競争社会ではない新たな共生社会を築き、そこで安心して暮らせるような社会を農福連携を通じて実現したいと思っています。

今回は、農福連携を先進的に取り組んで来られた方々をお招きして、より具体的な農福連携の有り様を模索すべく以下によりフォーラムを開催します。

★ 実施要領 ★

◇日時：2017年10月18日(水) 13:20~16:30

◇会場：アオーレ長岡 ホールD

◇参集者：先着40名(福祉施設、行政、園芸福祉関係者)

◇主催：北荷頃・一之貝・軽井沢集落連携促進協議会

◇共催：特定非営利活動法人UNE

◇参加費：無料

★ 次第予定 ★

13:20~13:30 受付

13:30~13:40 開会挨拶

13:40~14:40 事例発表

●園芸福祉による障がい者の自立就労支援

特定非営利活動法人 土と風の舎

代表 渋谷雅史さん(埼玉県川越市)

●精神科デイケアにおける農作業プログラムについて

すずのきメンタルケアクリニック

事務責任者 根無智教さん(埼玉県久喜市)

●医療における農業活用の意義 ~農業リハビリのご紹介~

北原国際病院リハビリテーション科就労支援室

就労支援室責任者、作業療法室責任者 峯尾舞さん(東京都八王子市)

14:40~15:00 休憩

15:00~16:00 鼎談

「農福連携」のこれまでとこれから

事例発表して頂いた3名の方からパネリストとなって頂き、農福連携の成果とこれからの展望について語って頂きます。

進行：特定非営利活動法人UNE 代表理事 家老洋

16:00~16:20 事例発表

●市民ボランティア農福連携カリキュラムについて

特定非営利活動法人UNE

事務局次長 納谷光太郎

16:20~16:30 アンケート記入、閉会挨拶

お問い合わせ・お申込み：10月13日までお願いいたします。(電話受付：平日9時~16時)

北荷頃・一之貝・軽井沢集落連携促進協議会(担当 吉野・井口)

長岡市一之貝869 tel:0258-86-8121 fax:0258-86-8131 e-mail:kitaichikaru@yahoo.co.jp